

# タスキでつなぐ地域の絆

## 11/3 第37回 村民駅伝競走大会

昭和四十八年から始まった村教育委員会主催の伝統行事「第三十七回村民駅伝競走大会」が、十一月三日・文化の日に開催され、九つの地区コミュニティから十六チーム、百六十人の選手が参加しました。

当日は、今年一番の寒気の影響で気温が低く、時折雨やあられが降るといふ悪コンディションの中でしたが、どの選手も日頃の練習の成果を発揮。白い息を吐きながらも、寒さに負けない力強い走りです。タスキをつなぎ、全チームが完走しました。



他チームを圧倒し  
三連覇!!

### 川北Aチーム

女川小学校体育館で行われた開会式では、菅原清大会会長が「これまで培った練習や地域の絆でタスキをつないで走り抜いてください」と激励した。また、近祐希さん（川北A・高田）が「毎日の晩酌を止めてこの日のために頑張ってきました。ここにいる選手全員で走り抜き、村を盛り上げます」と、力強く選手宣誓を行いました。

午前十時、女川小学校グラウンドでスタートの号砲が鳴り響き、村内縦断の三十二・三km十区間で争われる村民駅伝が幕を開けました。

スタート直後は、霧出が飛

### チーム記録

順位	チーム名	記録
1	川北A	1時間54分07秒
2	霧出	1時間59分12秒
3	上関A	2時間00分44秒
4	女川A	2時間01分31秒
5	四ヶ字A	2時間06分30秒
6	川北B	2時間07分12秒
7	七ヶ谷A	2時間07分54秒
8	九ヶ谷	2時間08分35秒
9	下関A	2時間09分29秒
10	湯沢	2時間14分28秒
11	四ヶ字B	2時間23分41秒
12	上関B	2時間24分23秒
13	下関B	2時間25分06秒
14	七ヶ谷B	2時間25分51秒
15	女川B	2時間27分52秒
16	七ヶ谷C	2時間36分44秒

び出したものの、昨年優勝の川北Aが二区の終盤で追い抜きた。また、上関Aと女川Aが上位二チームを追い抜きました。中盤に入ると、川北Aが二位の霧出をぐんぐん引き離して独走態勢。そんな中、上関Aと女川Aが激しい三位争いを繰り広げました。

優勝は、圧倒的な強さを見せた川北Aチーム。悪コンディションの中でも好タイムを記録し、三年連続、通算二十二回目の優勝を果たしました。また、準優勝は霧出、三位には上関Aが入りました。川北Aチームの選手兼コー

チの佐藤雅史さん（松ヶ丘）は「コンディションが悪い中、選手が各区間を練習どおりに走ってくれたので、優勝につながりました」と、喜びを語っていました。

小学生女子で十区を走った高橋理彩さん（五年・大石）は「チームは最下位でしたが、最後まで走ることができて良かったです」と感想。また、八区を走った渡辺慶さん（上関）は「昨年より遅いタイムでしたが、チームが三位入賞できました。来年は打倒川北が目標です」と、すでに気持ち来年に向かっていました。



区間賞 (敬称略)		印は大会新記録
区間 距離)	氏名 (チーム名・集落)	記 録
1( 3.0km )	市井 浩明(霧 出・山 本)	11分15秒
2( 4.3km )	山口 匠(上関A・上 関)	14分56秒
3( 3.1km )	須貝 秀之(川北A・高 田)	10分14秒
4( 1.7km )	伝 浩貴(霧 出・大 島)	6分 5秒
5( 2.1km )	平田 圭祐(川北A・平内新)	6分35秒
6( 3.8km )	小嶋 達也(霧 出・上土沢)	13分18秒
7( 3.5km )	平田 達哉(川北A・平内新)	11分39秒
8( 4.6km )	坂爪 凜哉(女川A・中 束)	16分48秒
9( 2.9km )	須貝 隆平(川北A・高 田)	10分51秒
10( 3.3km )	近 祐希(川北A・高 田)	11分33秒

駅伝競走大会に出場している選手を、村教育委員会(菅原清委員長職務代理)が表彰しました。受賞者は次のとおり。敬称略。  
 通算20回出場選手  
 伊藤 浩明(関出)  
 平田 毅(平内新)  
 通算10回出場選手  
 渡辺 俊(上関)  
 新野 晃之(南赤谷)  
 平田 大之(大島)  
 本間 雅彦(安角)

## 通算表彰



高橋 良平(金俣)  
 佐藤 徹(安角)  
 須貝 和幸(高田)  
 連続15回出場選手  
 須貝 隆平(高田)

